焼森山&鶏足山山行報告

【山 行 日】2021年 3月 24(水) 晴れ

【集 合】道の駅「しもつけ」 AM 6:30

【費 用】マイカー2台 : 1,100円

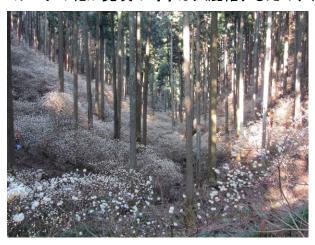
【メンバー】CL:鈴木1、SL大西 安西、石澤、

嶋田、島田、関、田村、福田外、渡辺

【コースタイム】道の駅「しもつけ」6:30=登山口 P7:40/7:55~ミツマタ群生地 8:20/8:50~ 焼森山 9:30/9:40~鶏足山 10:10/10:20~登山口 P10:55/11:05=いい里「さかがわ館」11:20/12:15 =益子焼 12:50/13:00=道の駅「しもつけ」13:50



春の訪れを告げる森の妖精『ミツマタ』を見たいとの要望があり、焼森山から鶏足山を計画した。 ミツマタの花が見頃の時季は大混雑するため、平日の水曜日に計画する。道の駅「しもつけ」を6時



30分に出発し、いい里「さかがわ館」でトイレを済ませミツマタ群生地の駐車場に着く。平日でも駐車場はすでに満車で、係員の誘導で手前の草地に車を止める。準備を整え、ストレッチを行ったら出発する。

林道を歩いて行き、ミツマタ群生地入口から山道に入る。群生地は反時計回りに一方通行になっており、見物者がすれ違わないよう配慮されている。ミツマタの花は丁度見頃で、多くのカメラマンや見物者で賑わっている。黄色い妖精のトン

ネルをくぐると、谷全体がミツマタの花で埋め尽くされ、幻想的な光景に皆さんから歓声が上がる。 ミツマタの花を見下ろしながら周遊し、谷に降りると出口から林道に戻る。林道に出て左に進むとミ

ツマタ広場があり、係員に協力金1人200円 を徴収される。広場にはベンチとトイレがあ り、トイレを済ませてから焼森山へ向かう。 そのまま林道を南に進み、Y字路を右に進 むと右側に焼森山への小さな標識がある。 ここから急な登山道を登り、尾根に出たら左 に進むと焼森山山頂に着く。山頂からの展 望は良く、焼森山山頂と書かれた標識板が 木の根もとに置かれていた。その標識板を 持って記念写真を撮り、休憩を取ってリンゴ や菓子をいただく。ここから東の尾根を下っ



て行き、座禅岩なる岩を左に巻き平坦な尾根から北東に登り返すとと、二等三角点が置かれた鶏足山南峰に着く。ここから一旦左に下り、北方に向かって登り返すと鶏足山山頂に着く。

山名の由来となった鶏の足跡のように見える岩が点在し、南を除く三方の展望が開ける。 北西方向には日光連山が望め、小休止して展望を楽しみ記念写真を撮る。ここからは茨城県との



県境尾根を北に向かって進む。少し下った所に鶏石への標識があり、右に急坂を下って行くと鶏の形をしてると言われる大きな岩がある。 どのように見れば鶏に見えるのか疑問だったが、とりあえず岩の前で記念写真を撮り稜線の道に戻る。雑木林の気持が良い稜線が続き、アップダウンを繰り返して進む。ピークをいくつか越えた所で二股に分かれ、計画では右に進むべき所を左の登山道を進んだ。こちらの道の方が多く歩かれるようで、登山道が広くはっきりしているため間違ってしまった。お蔭で早く

往路の林道に出られ、林道を右に進むと直ぐに駐車場に戻れた。駐車場に戻ると驚いた、駐車場と 我々が止めた駐車場所は満車で、駐車場の空き待ちの車が狭い道に長蛇の列をなしていた。

急いで靴を履き替え、少しでも早く駐車場所を空けてあげる。ここから昼食を食べる予定のいい里

「さかがわ館」に向かったが、ここもシャトルバス の発着所なので駐車場が一杯だった。何とか車 を止めてレストランに向かい、それぞれ好きな物 をオーダーし美味しくいただいた。お腹が満たされたら直売所でお買い物して帰路につく。

途中、益子町で「益子焼を買いたい」との要望があり、共販センターに寄ったが水曜日で閉まっていた。 徳ちゃんの案内で町の中の陶器店に行き、目的の陶器をゲットする。 我々には少々お値段が高く、とても買えるものが無かった。



素晴らしいミツマタの花を観賞し、適度の山歩きを楽しんで美味しいランチをいただき、お買い物もできて充実した一日となった。



